

平成30年第1回東海村議会臨時会提出議案説明要旨

平成30年1月25日

おはようございます。

この度、村内の一部の土地におきまして、税負担を軽減する住宅用地の課税標準額の特例措置が適用されておらず、固定資産税及び都市計画税を過大に課税していたことが確認されました。

また、国民健康保険税につきましても、平成20年度まで、固定資産税の税額に応じて賦課する資産割を用いていたことから、固定資産税の課税誤りに伴い、過大な課税をしていました。

納税者の皆様、村民の皆様には多大なご迷惑をおかけするとともに、本村税務行政に対する信頼を著しく損なうことになりましたこと、心から深くお詫び申し上げます。

今回の課税誤りを厳粛に受け止め、現地調査の徹底、事務処理体制の強化、職員の資質向上に努め、再発防止に万全を期してまいります。

それでは、平成30年第1回東海村議会臨時会にあたり、提出いたしました議案の概要について、ご説明申し上げます。

今回提出いたしました議案は、補正予算1件でございます。

議案第1号 平成29年度東海村一般会計補正予算第5号につきましても、予算総額に歳入歳出それぞれ4, 618万9千円を

追加し、予算総額を193億160万円とするものでございます。

補正の内容につきましては、固定資産税及び都市計画税において、住宅用地に係る特例措置の適用漏れによる過誤納金の還付に伴い、予算措置を講じるものでございます。

以上で提出いたしました議案について概要を申し上げましたが、詳細につきましては、お手元の議案書等によりご審議のうえ、適切なる議決を賜りますようお願い申し上げます。

以上で提案理由の説明を終わらせていただきます。